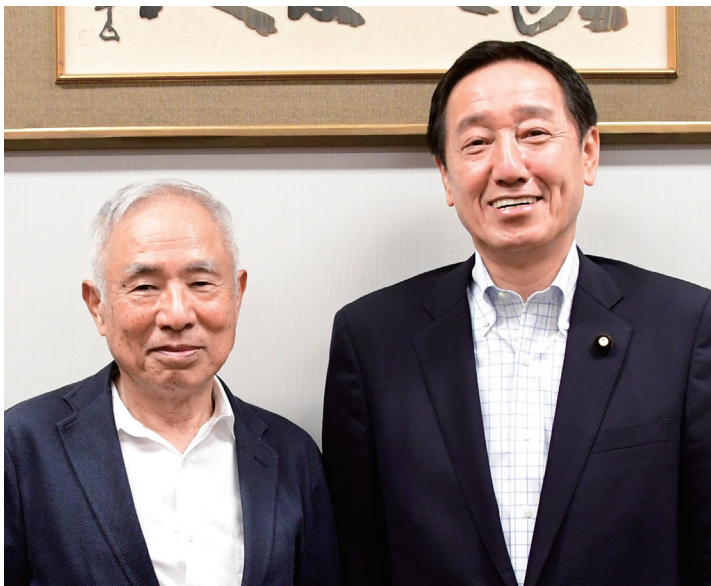


閉会した国会で「地域共生社会の実現のための社会福祉法等の一部を改正する法律」が成立。第2次補正予算に盛り込まれた介護職員への慰労金は、養護や軽費などを含むすべての介護サービス事業所・施設が対象になることが通知された。



## 今月の修光 Style



全国老協理事・  
「芦花ホーム」医師

石飛幸三

全国老協常任理事・参議院議員

そのだ修光

特養「芦花ホーム」の医師で、全国老協理事の石飛幸三先生の提案をきっかけに、「広域感染症災害救援事業」が創設されることになりました。介護現場での新型コロナへの対応などについて、石飛先生とお話する機会を得ました。

## コロナ感染症を乗り越えて 介護を一步前進させよう

**そのだ** 高齢者施設の新型コロナウイルス感染症への対応についてお話をうかがいたいと思います。

**石飛** 私は長く外科で仕事をしてきましたが、特別養護老人ホームに心を入れて高齢者を支えている人たちがいることを知り、本当に値打ちのある仕事をされていると思っていました。新型コロナ騒ぎが起きるなか、

ジャーナリズムは「高齢者施設が危ない」と煽りました。もちろん油断するわけにはいきませんが、うろたえるべきではありません。どういったことが起きるのかをきちんと判断し、やるべきことをしっかり行えば、第2波、第3波が来ても対応できます。

**そのだ** 芦花ホームではどのような工夫をされましたか。

**石飛** 思うことを自由に語るミニ懇談会を計10回開き、すべての職員に出席してもらいました。本音を言える良い会になりました。私としても改めて勉強になりました。

また、東大の先端科学技術研究センターから「1つの高齢者介護施設全体の環境調査を行いたい。入所者や職員だけでなく、出入りする業者・配膳車・汚物も含めた検査を行いたい」という申し入れがあり、協力しました。

**そのだ** 私も現在、厚生労働省と、感染拡大の兆候を知るために、施設から出る下水を検査してはどうかという話をしているところです。  
**石飛** それは良い案ですね。

**そのだ** 日本の高齢者介護施設は現場の人たちの努力で死亡者数を抑えています。国としても現場を応援するため、感染者、濃厚接触者がいない介護・障害福祉事業所で働く職員にも5万円の慰労金をお支払いすることにしました。当初案では利用者と接する人だけが対象でしたが、私は「事務職などの関係者もみんな努力している。分け隔てしてはならない」と強く主張しました。

また、国としての課題の一つに、介護現場の統一マニュアルがまだできていないことがあります。ぜひ力をお貸しください。

**石飛** 東大からは「芦花ホームで感染症検査に関する倫理委員会をつくりましょう。その責任者になってほしい」とも提案されました。これを聞いて直観したのが、医療と介護が一緒にやっているとどういふことか、それぞれを改めて考える良い機会になるはずですね。

**そのだ** 今回のコロナ禍を、医療と介護のあり方の確立に向けて一步前進する契機としたいです。

さらに詳しく知りたい方は、  
ホームページにアクセスしてください。

**そのだ修光** 検索  
<https://shuko-sonoda.com/>



ご要望は  
こちらまで



LINE公式アカウント

友だち登録  
お願いします!

